

S-1（エスワン）による流涙の予防について



- ◆ S-1を服用することによって、**涙が出やすくなる（流涙）**という副作用が報告されています。これは、内服後に吸収されたS-1の成分が涙液へ移行し、目の角膜を傷つけたり、涙が流れる管（涙管）が詰まることが原因とされています。
- ◆ 流涙以外にも、目の充血、目が痛い、物が見えにくい、目がかすむ、目が乾く、結膜炎、角膜炎などの症状が現れることもあります。

◆ 発現時期・頻度

個人差がありますが、投与開始から3か月以内が多く、10人に2人程度とされています。

◆ 予防方法

眼内のS-1の成分を洗い流すことが重要です。
防腐剤を含まない人工涙液の点眼を
1回2-3滴、1日6回以上行ってください。
ただし、水道水は使用しないでください。



選択ポイント

- ①防腐剤を含まない→防腐剤は悪化させる可能性があります。
- ②ヒアルロン酸など粘稠性のあるものは避ける。
→粘稠性のある点眼薬を使用することで、角膜表面に留まる時間が延長し、眼の障害を悪化させる可能性があります。

涙があふれることが多くなったり、目のかすみ、視力低下を感じた場合は、次回診察時に主治医に報告し、眼科の受診を受けてください。

防腐剤を含まない人工涙液の例

医療用医薬品で、防腐剤を含まない点眼はありませんので、薬局やドラッグストアでご購入ください。

ソフトサンティア®



ウェルウォッシュアイ®



ご購入時は、薬剤師にご相談ください。